



三和中央病院

医療法人 清潮会 三和中央病院 広報誌

2020年冬発行

No.241

# POCO a POCO

ポコ・ア・ポコ

## 基本理念

### 安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます

POCO a POCO(ポコ・ア・ポコ)とは……

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

発行人：塚崎 稔

発行所：長崎県長崎市布巻町 165-1

TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>



令和二年  
賀正

画：江口信廣 筆：野口春實

## 新年にあたり



2020年(令和2年)の幕開けです。皆様、新年明けましておめでとうございます。

良いお正月をお迎えになられた事と思います。お正月返上で勤務の方々、大変ご苦労様でした。昨年一年間を振り返ってみますと、院内では尾上看護部長が多年に亘る精神保健福祉事業の発展に寄与された事による厚生労働大臣表彰を授与されました。

又、森和弘心理療法室長、並びに松本野乃子心理療法士が国家資格である公認心理師の資格を取得されました。(森和弘先生は長崎県臨床心理士会会長にも就任されました。)そして、杉山鮎子先生が精神保健指定医の資格を取得されました。この様に努力が実り、表彰を受け、或いは資格を取得された事は、ご本人達は元より当院にとっても大変喜ばしい出来事でありました。おめでとうございます。

国内では、1月26日テニスの全豪女子オープンで大坂なおみ選手が優勝し、世界ランキング1位になりました。8月4日ゴルフの全英女子オープンで渋谷日向子選手が優勝。10月13日、ラグビーW杯1次リーグ、vsスコットランドに勝利し初の1次リーグ突破でベスト8入り。一躍ラグビーがメジャースポーツに躍り出た感じです。小生も高校、大学と約9年余りラグビーに勤しんで来た事もあり、この試合は居ても立っても居られず、横浜まで観戦に行っておりました。ラグビー史上に残る感動の試合でした。

11月10日、新天皇即位による祝賀パレード。国中に祝賀ムードが漂いました。

11月24日、ローマ教皇フランシスコが長崎市を訪れ、爆心地公園で平和演説、核兵器廃絶を訴えました。お正月ですので、心に残る良い出来事ばかりを列挙してみました。今年も平和で楽しい事があります様に心より祈念しております。夏には56年ぶりに東京オリンピックが開催されます事を、楽しみにしております。

今年の干支は始まりの子(ねずみ)。私たちが初心に戻り、新たな気持ちで事にあたりましょう。

本年も宜しくお願い致します。

医療法人 清潮会 理事長 塚崎 寛

あけまして  
おめでとう  
ございます

## 長崎くんち



昨年の川船を長男と一緒に参加した  
ひまわり病棟主任の町本文也さん



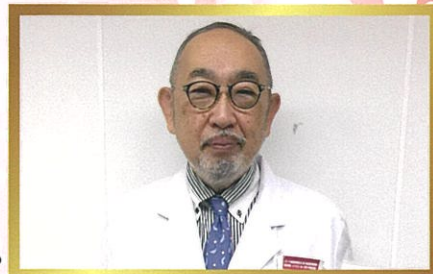
南3病棟 師長  
伊ヶ崎 豊

昨年は年番町として賽銭箱などを持って御神輿の御上り御下りにお供したのですが、世相を反映してか数年前に比べるとお賽銭が少なくなっていました。2年後には踊り町本番、その翌年はくんち全般のお世話を務めます。

私は前々回龍頭を引退し、前回から助監督として、龍方の指導、踊り全般の調整・指導、本番での裏方(庭先周りでの誘導、監督)を担います。2年後の本番でいい踊りが奉納できるように龍踊を作り上げていきたいですし、楽しみです。

## 馬場先生が認知症専門医・指導医の認定を受けました

小生「子供叱るな 来た道だ、老いを笑うな 行く道だ」と納得してきましたが、気がついてみると前期高齢者。今や老いの道をひたひたと歩いている自分に、時々ぞっとしています。気を振り絞ってオシャレをしてみますと、何となく気持ちが明るくなり、生きていることに感謝。あともう少しだけ三和中央病院で診療を続けたいと願い、この度、症例報告書・申請書と筆記試験により行う難関の認知症専門医に挑戦しました。結果は奇跡の合格通知。お陰様で3年前の認知症臨床専門医に続き、認知症専門医試験にも合格しました。塚崎院長からは大変な祝福を受け、感謝の念に堪えません。



現在、認知症に対する十分な治療法は確立されているとは言えません。しかしながら世界中の科学者が日夜研究を続け、もう間もなく画期的な治療薬ができあがるころまで来ていると信じます。それまでは認知症の早期発見・治療・対応に努めようと思えます。認知症という病気の意識は低く、精神科への偏見も強いものであり、外来における認知症の初診は介護困難な状況になってからの受診で、即日入院を希望される方が多いようです。この偏見を取り除くためには「認知症を正しく理解していただく」という啓発しかないと考え、できうる限り地域での講演活動を広く行っています。

認知症問題は、医療や介護分野だけではなく、すべての人が他人事ではなく、社会全体が認知症を看るといふ姿勢が必要であると思われまます。よって、認知症の患者様及び御家族にとってより良い医療を提供できるように精進します。今後とも宜しくお願い致します。

## 世界初!! AIを用いた認知症共同研究～三和中央病院と共に～

(株)e-エクササイズ代表取締役 松浦亜紀子



\*顔の表情と動きをAIにて解析

三和中央病院、広島国際大学、県立大学シーボルト校、弊社との認知症共同研究が10月より始動しております。研究タイトルは『AIを用いた「笑顔」の量的測定～「e-エクササイズ®」プログラムを通して、認知症高齢者のための安心・安全・効果的な運動プログラムの検証と運動のQOLに与える効果～』です。最新のAI技術を使うことで表情の変化を数値化データとして扱うことができる画期的な本研究は、今年の6月、ノルウェーで開催される国際学会で発表を予定しております。長崎より世界へ！三和中央病院と共に！

## 医療法人清潮会 第4回地域交流祭・みどりくんち

今年で4回目の地域交流祭が開催されました!オーグーズによるバンド演奏やチャリディング、お楽しみ抽選会、保育園のお遊戯、日本舞踊、ブラスバンド演奏などステージショーも充実しており出店も大盛況でした。多数のご参加ありがとうございました。



# 第42回日本内観学会大会



第42回日本内観学会大会が三和中央病院院長 塚崎 稔を大会長として令和元年7月12日（金）～14日（日）長崎大学医学部良順会館にて開催されました。内観療法は日本オリジナルの精神療法として依存症やうつ病の治療に広く活用されています。今大会では内観療法の現代的応用として三和中央病院看護師の尾上三さんが「発達障害に対する内観療法の1症例」とデイケアの山川佳子さんが「ギャンブル依存症への内観療法の有効性に関する調査」を発表報告しました。シンポジウムではデイケアの馬場博さんと谷口大輔さんがそれぞれシンポジストとして登壇し、内観療法の工夫や当院での内観療法の歴史を話しました。また、今大会では国際内観シンポジウムを企画し、中国、スリランカ、米国、欧州から内観療法の専門家が来日し国際色あふれるディスカッションがおこなわれました。

## 今年も大川清掃を行いました!!

今年も大川清掃のため三和中央病院から83名、みどりの里から6名のほか、佐賀里の会などが参加し、皆で協力して大川を綺麗にしました。

ご協力ありがとうございました!



Before



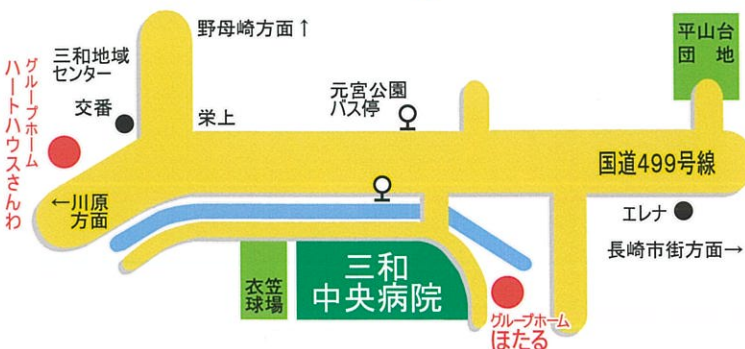
After

○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://sanwa.or.jp>

三和中央病院

検索



医療法人 清潮会 三和中央病院  
診療科目: 精神科・心療内科・内科・歯科  
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町 165-1  
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588  
E-mail: info@sanwa.or.jp

医療法人 清潮会 あんしん  
訪問介護ステーション  
〒851-0494 長崎県長崎市布巻町 165-1  
TEL 095-893-8633  
FAX 095-893-8677

グループホーム ハートハウスさんわ  
〒851-0403 長崎県長崎市布巻町 72-1  
TEL・FAX 095-892-8780

グループホーム ほたる  
長崎県長崎市布巻町 624-1  
TEL・FAX 095-895-5550

医療法人 清潮会 さんクリニック

診療科目: 心療内科・精神科  
〒850-0842 長崎県長崎市新地町 8-16 ミナトパークビル 4階  
TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>